



学聖館通信

GAKUSEIKAN

2023年10月号

鈴鹿校: ☎059-344-8285

伊賀校: ☎0595-51-5952

①学習時間よりも学習計画とその実践を大切に！

2学期は、中学校の定期テストや、小中学校の行事、部活の大会などなど、うっかりしていると時間だけがどんどん過ぎていってしまいます。

「一日に何時間学習すればよいですか？」という質問をよく受けます。しかし、単純に「●時間勉強した！」ということよりも、その学習の中身がポイントです。**秋の学習は、時間数よりも、目標地点に対して計画通りに進められたかどうか大切です。**これまでのテスト結果や学習の進み具合などから総合的に判断して、

◎どこを改善しなければならないのか？

◎いつまでに何をしなければならないのか？

といったことから学習計画を立て、その計画通りに毎日の学習を進めることが重要です。2学期は、そういった取り組みができるよい時期です。

そして、学習したことが自分のレベルアップにつながったかどうかは、テストを受けて確認しましょう。

テストの直前だけ大あわてで学習する人がいますが、学力というのは一朝一夕で身に付きません。長い時間をかけて反復練習し、完全に自分の実力となって初めてテストで結果が現れます。

今から自分自身の学習計画をしっかり立てて取り組んでみましょう。



②新規入塾生募集中

学聖館では、皆さんと同じように「学習を頑張りたい！」という生徒さんを大募集中です。お知り合いの方に学聖館の特徴を聞かれたときは、「**検定(英検/漢検/数検・算検)に挑戦、合格する生徒が多い**」、「**学校の成績が上がる子が多い**」、「**入塾前より家庭学習時間が増える子が多い**」、「**志望校にきちんと合格する子が多い**」などをぜひお伝えください。もちろん、勝手にそのようになるのではなく、**その秘訣は学聖館ならではの取り組みにあります。**新規ご入塾をご検討中の方を対象に**入塾相談を随時受け付けております。**学習について目標やお悩みをお持ちの方は、ぜひ学聖館までご相談ください。

③検定取得を応援します！

検定といえば「英検」が有名ですが、「漢検」や「数検・算検」にも多くの人が挑戦しています。各検定に合格すると、資格として認められるので、入試や就職などの際、人物評価を高める材料として大いに役立ちます。各学年の学習内容に合わせて毎年ひとつずつ級を上げて挑戦する人、先取り学習をして学年レベルよりも上の級に挑戦する人など、検定の挑戦方法は様々です。ただ、各検定は下の表の通り、日程が決まっています。直前にあわてて対策をしても効果はありませんので、目標とする日程に向けて日々学習に取り組みましょう。

★10月は、各検定が実施されます。検定に挑戦する人は合格を目指して頑張りましょう！

★検定合格を目指している人は、目標級への合格に向けて、計画的に対策を進めましょう！

2023年度 各検定スケジュール(9/24更新)			
個人受検の情報です。	英検 検定日程(本会場)	漢検 検定日程(本会場)	数検・算検 検定日程(本会場)
第1回 個人申込→	6/4(日) 受け付け終了	6/18(日) 受け付け終了	【第406回】4/16(日) 受け付け終了
第2回 個人申込→	10/8(日) 受け付け終了	10/22(日) 受け付け終了	【第410回】7/23(日) 受け付け終了
第3回 個人申込→	1/21(日) 11/1(水)～12/14(木)	2/11(日) 11/1(水)頃に受付開始日発表	【第414回】10/29(日) 受け付け終了

検定級の目安(検定ごとに目安級が異なります。詳細は学聖館までおたずねください。)

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
英検						5級	4級	3級	準2級			2級
漢検	10級	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	準2級			2級
数検(算検)	11級	10級	9級	8級	7級	6級	5級	4級	3級	準2級	2級	準1級

算数検定の個人受検では11級～9級を実施していません。

☆【英検・数検・算検】学年レベル以上の級を目指した先取り学習をご希望の方はご相談ください。

☆【漢検】漢字の読み書きだけでなく、部首、同音異義語、四字熟語など様々な知識が必要です。

☆上の表は本会場で実施する個人受検の日程です。準会場(学校等)で実施する場合は別日程もあります。



《検定に挑戦する意義》

「英検」は英語力を測るテスト、「漢検」は漢字の読みや書きの力を測るテスト、「数検・算検」は数学力・算数力を測るテストです。受検することで、自分の学力を客観的に測ることができます。また、合格することで資格が得られ、就職や進学に有利になる場合もあります。さらに、受検の過程で努力や挑戦する意欲が養われることもあります。ただし、受検すること自体が目的ではなく、受検を通じて学力を向上させることが大切です。